2023 年 12 月発行「日本画像学会誌」で使われた資料にて、弊社発行の「インクジェット印刷マーケット総覧」が引用されました。

640

日本画像学会誌　第 62 巻　第 6 号：640-645（2023）
©2023　The Imaging Society of Japan

Imaging Highlight

ファッションビジネス学会デジタルテキスタイル研究部会活動について

城田　衣*

（2023.10.5　受理）

Activity of The Digital Textile Technical Committee, The Japan Society for Fashion Business

Koromo SHIROTA*

Digital textiles are a method of printing digital data (images) directly on fabric without using screens or other plates. Due to the recent rise in global environmental awareness and changes in the social environment surrounding consumers due to the COVID-19, apparel using digital textiles is becoming increasingly popular around the world. However, digital textiles are not well recognized in the Japanese fashion industry. In addition, there was a lack of a cross-industry community. With the aim of education and developing digital textiles in Japan, we established The Digital Textile Technical Committee in 2017. This paper reports on the activities of this committee to date.

デジタルテキスタイルとは，スクリーンなどの版を使用せず，布に直接デジタルデータ（画像）をプリントする手法です．昨今の世界的な環境意識の高まりと，コロナ禍による消費者を取り巻く社会環境の変化により，世界各地でデジタルテキスタイルを活用したアパレルの普及が進んでいます．しかし，日本のファッション業界ではデジタルテキスタイルの認知が進んでいません．また，業界を横断するコミュニティが不足していました．そこで，日本におけるデジタルテキスタイルの啓蒙と発展を目的に，2017 年にファッションビジネス学会デジタルテキスタイル研究部会が設立されました．本稿では，本研究部会のこれまでの活動についてご報告いたします．

I. はじめに

SDGs 等の世界的な環境意識の高まりと，コロナ禍によるオンラインアパレルの急増を背景に，インクジェットを用いたテキスタイルプリントは着実に普及しています．直近では全体需要の約 12～13 % がインクジェット技術によりプリントされており[1]，上述の環境変化を背景に，今後も高い成長率が見込まれています．

デジタルテキスタイルを支えるインクジェット技術は日本のお家芸であり，世界のデジタルテキスタイルプリント物の 97 % は日本メーカーのヘッドを利用して生産されています（Fig. 1）[2]．

また，ミシン，高機能繊維，計測技術など，デジタルテキスタイルに関連する多くの分野で日本は世界をリードしています．しかし，日本のファッション業界ではデジタルテキスタイ

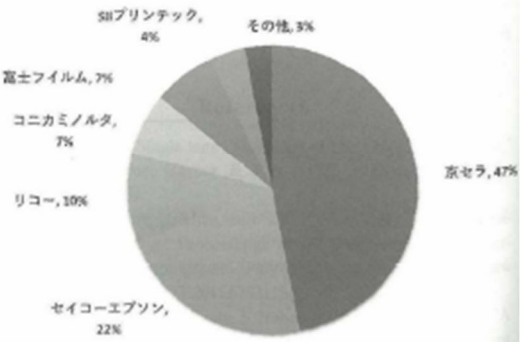

Fig. 1　Digitally printed textiles area share by printhead manufacture.

* 責任著者，Corresponding author
キヤノン株式会社　R & D 本部材料技術 21 開発室
〒146-8501　東京都大田区下丸子 3-30-2
Materials Technology Development Dept 21, R & D Headquarters, Canon Inc.
30-2, Shimomaruko 3-chome, Ohta-ku, Tokyo 146-8501, Japan

DATA SUPPLY INC.

Table 3 List of lectures in The Digital Textile Academy

第一回	日時：2020年1月24日（金）	
	第一講	「デジタルテキスタイルプリンタ・インクの基礎知識」
		講師：コニカミノルタ（株） 情報機器開発本部 竹内 節
第二回	日時：2021年3月5日（金）	
	第一講	「プリント物の色にかかわる基礎知識」
		講師：オー・ジー長瀬カラーケミカル（株） 経営企画室 主事 山田竜二
第三回	日時：2021年11月12日（金）	
	テーマ「プリント物の堅牢性と安全性」	
	第一講	「染色堅牢性評価と業界品質基準」
		講師：一般財団法人 カケンテストセンター グループリーダー 相澤亮太
	第二講	「プリント物製造時の安全性に関する留意点について」
		講師：（株）大力 代表 山村北人
第四回	日時：2022年12月9日（金）	
	第一講	「ZDHCの概要」
		講師：一般財団法人 カケンテストセンター 室長 志賀 聖
	第二講	「今更聞けない ポリエステル基礎講座」
		講師：一村産業株式会社 繊維第3部繊維マテリアル課 主任部員 小野浩史

5. 今後の活動について

当研究部会は，これまでの活動を通じて，デジタルテキスタイルプリンターメーカー関連各社の業界横断のコミュニティとしての認知度を高めることができました．一方で，ファッションを生み出す側の方々，アパレルメーカー，デザイナー，プリントを担う方々，将来のクリエイターとなる学生諸氏，つまり，広い意味でのユーザー側の方々に，まだ十分にリーチできておりません．当研究部会の目的としておりますデジタルテキスタイルの課題と解決策の検討のためには，ユーザー側の参画が必須であると考えています．

そのために，他団体とのコラボ企画，学生向けの講座などを計画中です．デジタルテキスタイルも画像形成そのものですので，ぜひ，日本画像学会の方々にも，デジタルテキスタイルに興味をお持ち頂けましたら幸いです．開催行事等を掲載しておりますので，当研究部会のホームページ（https://digitex-bu-kai.com）へお越しください．

ぜひご一緒に，デジタルテキスタイルの未来を創りましょう．

参 考 文 献

1）「テキスタイル市場」，2021年版インクジェット印刷マーケット総覧，データサプライ（2021），100 p.
2）城田 衣，「ファッションビジネス学会デジタルテキスタイル研究部会」，色材協会誌，**93**, pp. 59-61（2020）．

城田 衣

北海道大学工学部応用化学科卒業，同年キヤノン株式会社入社．インクジェットインクの開発等を担当．2013年東京工業大学大学院イノベーションマネージメント研究科技術経営専攻を修了．技術経営修士（専門職）．2019年よりファッションビジネス学会デジタルテキスタイル研究部会長を務める．